

平成21年5月19日

各位

上場会社名 新日本建設株式会社
 代表者 代表取締役社長 金綱 一男
 (コード番号 1879)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 小駒 要一
 (TEL 043-213-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	70,000	3,100	3,340	1,960	31.99
今回発表予想(B)	53,250	1,519	1,989	1,324	21.63
増減額(B-A)	△16,750	△1,581	△1,351	△636	
増減率(%)	△23.9	△51.0	△40.4	△32.4	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	98,184	4,572	4,163	2,269	37.05

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	60,000	2,630	3,010	1,640	26.77
今回発表予想(B)	47,113	1,291	1,741	868	14.18
増減額(B-A)	△12,887	△1,339	△1,269	△772	
増減率(%)	△21.5	△50.9	△42.2	△47.1	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	89,652	4,104	3,571	1,817	29.67

修正の理由

世界的な金融市場の混乱と信用収縮による不動産市況の著しい悪化の影響により、建設事業につきましては、信用リスク管理の徹底による選別受注に伴い完成工事高が減少し、開発事業等につきましては、販売予定物件の一部について、売却予定先の事情による販売中止や一時延期、また、マンション需給の価格ギャップに伴うエンドユーザーの買い控えの影響によるマンション販売戸数の減少等により、売上高が前回予想を下回る見込みであります。

また、売上高の減少に伴う利益の減少のほか、売上原価に、当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用に伴う棚卸資産の評価損(6億96百万円)や仕掛工事債権の一部に対し保守的に引当金を計上したこと等により、営業利益、経常利益、当期純利益が前回予想を下回る見込みであります。

なお、現状の不動産市況を鑑み、当社不動産開発部門を大幅に縮小するとともに、売却予定の棚卸資産の一部につきましては、販売用不動産から固定資産へ移動し賃貸事業用資産として収益運用を行っております。

(注)業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上